

ACTA



アクタNo.69

発行日：2021年8月20日

ACTA（アクタ）は芥（あくた=ちり、ごみのこと）、そして英語のACT（アクト=行動する）という意味を含んでいます。さあ、あなたもごみの減量に向けた行動を始めましょう！

発行：多摩市環境部
ごみ対策課
☎ 042(338)6836



～食品ロス削減と持続可能な社会を目指して～



持続可能な開発目標SDGs 目標12のターゲット

・ターゲット12.3

2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。

・ターゲット12.5

2030年までに廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられてしまっている食品のことです。日本の食品ロスの量は年間600万トンにもなり、そのうち家庭から廃棄される量は276万トンになります。(平成30年度推計値)

食品ロスは、食料生産によるエネルギーの消費や廃棄の際の焼却によるCO₂排出といった点から環境負荷となります。そのため、2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)においても食品の損失・廃棄の削減を、目標12「つくる責任つかう責任」のターゲットとして掲げています。

持続可能な社会を目指して、一緒に食品ロスを減らしましょう!!



B・C面

- 多摩市の食品ロスについて実態調査しました！
- 食品ロスを減らすには
- ダンボールコンポストで生ごみリサイクル
- 食べきり協力店

D面

- 資源集団回収を始めませんか？
- 二ツ塚処分場について
- 「土壌改良材」市民配布のお知らせ
- 多摩市のごみ量は？



ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」多摩市版

ごみの収集日や分別方法など、ごみに関する情報をお知らせするスマートフォン対応の便利な無料アプリを配信中！ぜひ、ご活用ください。
※通信料については利用者のご負担となります

ダウンロード



iOS版



Android版

機能

- ごみ・資源収集カレンダー
- 50音分別検索
- ごみ・資源の分別ガイド



多摩市内の家庭から出る食品ロスについて調査しました!

多摩市では、食品ロスの実態を把握するため、環境省の「食品ロス実態調査支援事業」を活用し、家庭から排出される「燃やせるごみ」の中に含まれる食品ロスの現状を調査しました。

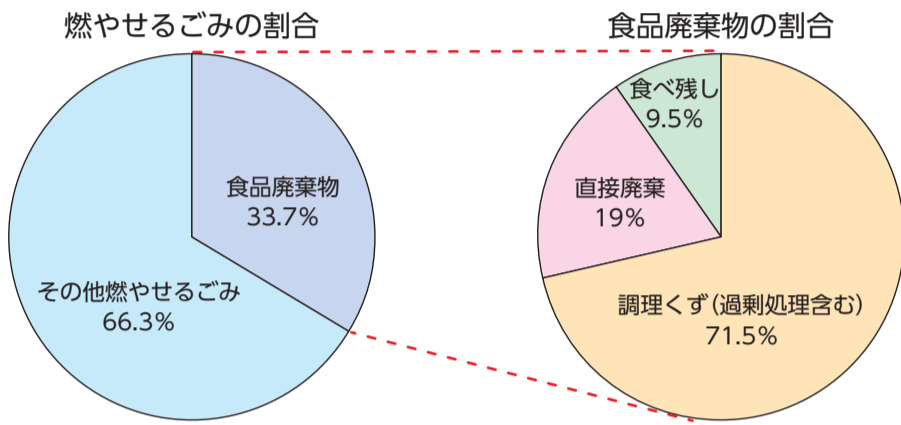
令和3年3月に実施した実態調査では、3つの地区の試料を調査しました。燃やせるごみの中に食品廃棄物は33.7%含まれていました。食品廃棄物に占める食べ残しは9.5%、直接廃棄は19%であり、直接廃棄される物の19%の中の割合は、100%手つかずのものは73.3%、50%以上手つかずのものは12.4%、50%未満手つかずのものは14.3%となりました。食品廃棄物の7割を占める調理くずには、野菜などの食べられない箇所に加えて、過剰処理(可食部の廃棄)も含まれ、多くの割合を占めています。



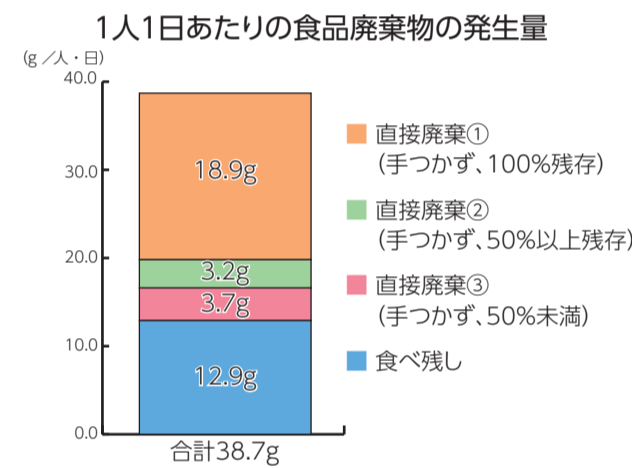
ひとつひとつ手作業で調査を行いました



まだ食べられそうな食品や、まったく手につかれていないものが多いね



今回の調査結果から、多摩市内の家庭から排出される食べ残しと直接廃棄される食品の量は、1日1人あたり38.7g(3地区単純平均)と推計されます。



購入された商品の多くが、手つかずのまま捨てられているね。食品ロス削減にご協力をお願いします



～まとめ～

- 1.多摩市民1人あたり、家庭から排出される食べ残しと直接廃棄される量は38.7g(3地区単純平均)
- 2.多摩市内の全世帯に換算すると、「年間約2,095トン!」

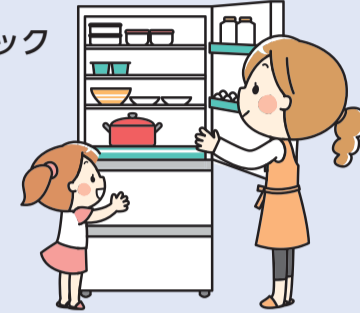


詳しくは多摩市HP「多摩市食品ロス実態調査について(結果報告)」



食品ロスを減らすには…

買い物前に冷蔵庫をチェックしましょう
食材の在庫を確認して、必要な物だけ購入!



買い物の際には商品を手前からとりましょう
販売期限が過ぎて廃棄される食品ロスの減量!

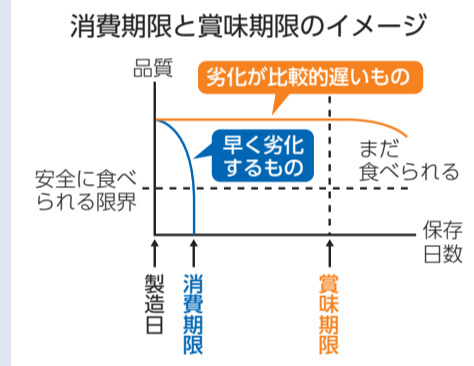


買った食材は使いきりましょう
食品の過剰除去に気をつけることにより食品ロス減量!



賞味期限と消費期限の違いを意識してみよう
賞味期限と消費期限を正しく理解して、無駄なく食材を使いましょう。

- ・賞味期限：おいしく食べられる期限
品質の劣化が比較的遅い食品に表示されています。すぐに食べられなくなる訳ではありませんが、早めに食べましょう。(例：スナック菓子、ハム、カップ麺)
- ・消費期限：食べても安全な期限
品質の劣化が早い食品に表示されています。期限前に食べましょう。(例：弁当、パン、生めん)



※賞味期限・消費期限共に未開封での期限です。開封した物は早めに食べましょう

多摩市では、捨てがちな野菜の芯や皮などを捨てずに利用するエコッキングをHPで紹介しています!!

野菜使いきりポトフと、ポトフをリメイクしたクラムチャウダー



野菜の皮はたわしで洗い、できる限り過剰除去に気をつけて、野菜を使いきりましょう!!
ポトフが余ってしまった場合は、クラムチャウダーにリメイクもできます!

捨てがち箇所で作る夏野菜のピクルス

野菜の皮や芯、きゅうりの端っこをおいしく食べることができます。



紹介した料理の作り方や他のメニューはQRコードからご覧いただけます!!



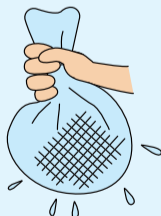
多摩市HP
エコッキング
～できることからやってみよう!～

どうしても出てしまう生ごみは…

ダンボールコンポストで生ごみをリサイクルしませんか?

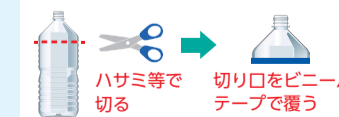
生ごみを水切りしてごみ減量!

生ごみの半分以上は水分です。捨てる前にギュッとひとしぼりすることでごみ減量につながり、嫌な悪臭を抑えることもできます!



素手で水切りを行うのが抵抗ある方に道具を使った水切り方法を紹介します。

◇ペットボトルの飲み口を加工した水切り道具



◇不要になったCDが水切り道具になります
CDの穴にネットを通してぎゅっとしぼる



・ダンボールコンポストとは

生ごみは、土に入れると微生物の力で分解し、消滅していきます。これをダンボールの中で再現するのがダンボールコンポストです。多摩市オリジナルのダンボールコンポストが「ダンボちゃん」です!



ダンボちゃんセット

購入先

NPO法人あしたや共働企画

多摩市諏訪5-6-3-101(諏訪名店街) ☎042-372-3690
営業時間: 10:00~17:00 定休日: 日曜・祝日・第3木曜日

※多摩市民の方は、申請により半額の補助が受けられます



詳しくは多摩市HP「ダンボールコンポストをはじめましょう!」

「生ごみリサイクルサロン」開催しています

「ダンボちゃん」の紹介や相談、ミニ講習会などを行っています。

「ダンボちゃん」をやっている方も、これから始めようと思っている方も是非遊びに来てください。

生ごみ減量から生ごみ堆肥の使い方まで、幅広い情報交換ができる場です。お気軽にお立ち寄りください。ダンボくらぶのメンバーがお待ちしております。

生ごみリサイクルサロン開催日

◇ベルブ永山3階「はらっぱ」
11月までの第4火曜日 11:00~15:00

※11月のみ第3火曜日の開催です
【8月24日・9月28日・10月26日・11月16日】

◇鶴牧商店街「カフェ・ドゥードゥー」
11月までの第4金曜日 10:00~12:00

【8月27日・9月24日・10月22日・11月26日】



・ダンボくらぶとは

「ダンボちゃん」で、楽しみながら循環型の暮らしを楽しむ市民グループです。生ごみの減量を目指して市と協働で生ごみリサイクルの普及に取り組んでいます。

ご関心のある方は連絡ください。☎ダンボくらぶ

✉danboclub@gmail.com

ダンボくらぶの日々の活動は、Facebook

🔍ダンボくらぶ 🔍検索 で発信しています。

多摩市食べきり協力店

多摩市では、食品ロスを減らすために、食品ロスの削減に取り組んでいただけるお店を「多摩市食べきり協力店」として登録しています。市民の皆さまには、食べ物への「もったいない」という意識を大切に、お料理を残さず食べていただくなど、食品ロス削減にご理解・ご協力をお願いします。

ラスカルとおいしく残さず食べよう!

食べきり協力店のポスターには、「あらいぐまラスカル」のイラストを使用しています。かわいいうラスカルが多摩市の食品ロス削減を応援してくれています。ラスカルとおいしく残さず食べましょう!



詳しくは多摩市HP「多摩市食べきり協力店」



食べきり協力店募集中

食べきり協力店は随時募集しています。市内飲食店・食品小売店の皆さま、お申し込みをお待ちしております。登録いただくと、ホームページ等でお店を紹介するほか、ポスターや啓発用グッズを提供します。

資源集団回収

資源集団回収を 始めませんか？

資源集団回収とは、自治会や管理組合、PTA、子ども会、サークル、仲良しグループなどで協力し、資源を回収するリサイクル活動です。

おおむね10世帯以上から始められ、集団回収で集められたものは、回収量に応じて補助金が交付されます。夏祭り、お楽しみ会などの行事の運営費、備品購入、施設の維持管理など様々なことに利用されており、地域の活性化にも繋がります！



○集団回収のメリット

- ①ごみの減量 ②リサイクルの推進 ③コミュニティ活動の活性化

○回収品目

新聞紙、雑誌・雑紙、ダンボール、紙パック、アルミ缶、スチール缶、びん、古布類、ペットボトル

○補助金額

8円/kg

○補助金の交付時期

年2回：上期(11月下旬)、下期(5月下旬)



詳しくは多摩市HP
「みんなで取り組む
地域の資源集団回収」

二ツ塚処分場

多摩市のごみは 日の出町のご協力のもと 最終処分が行われています

多摩市の家庭から出されるごみは、多摩清掃工場を経て、日の出町にある二ツ塚最終処分場でエコセメントへリサイクルされます。



日の出町の方々のご理解とご協力によって設置された最終処分場を一日でも長く利用できるよう、引き続き、ごみの分別と減量にご協力をお願いします。



令和3年度 第1回土壌改良材 市民配布のお知らせ

日時 10月2日(土)・3日(日)両日とも午前9時～正午
対象 市内在住者、市内の自治会・住宅管理組合
配布量 土のう袋(約7kg) 3袋まで
配布場所 エコプラザ多摩

※配布当日、申込者本人が土壌改良材配布引換券(返信はがき)を持参。インターネット手続きの場合は申請完了時にお知らせする到達番号を受け付けで提示

※申し込みは1世帯(1団体)で1通。応募者多数の場合は抽選(結果通知は9月17日(金)発送予定) ※代理受領は不可



申込方法

①インターネットで

8月20日(金)午前9時から9月6日(月)までに多摩市公式ホームページのインターネット手続きで申し込みます。



※インターネット手続きの場合、応募後4日以内に受領メールがないときは☎042(338)6836(エコプラザ多摩)に連絡をお願いします
(こちらから連絡をさせていただく場合がありますので、電話番号は必ず記入していただきますようお願いいたします。)

②往復はがきで

9月6日(月)消印有効の往復はがき往信欄裏面に、住所・氏名(自治会・住宅管理組合は団体名も記入)・電話番号、返信欄宛面に住所・氏名を記入し、〒206-0024多摩市諏訪6-3-2エコプラザ多摩内ごみ対策課「土壌改良材担当」へ。



※配布する際に使用する土のう袋は再利用できないため、返却不要

令和2年度

多摩市のごみ量は？

～ごみ減量目標の達成を目指して～

多摩市はごみ減量目標のひとつに、平成23年度と比較して、平成25年度から令和4年度までに毎年1%に相当するごみを減量し、10年間で10%のごみを減量することを目標として掲げています。8年目にあたる令和2年度の目標は8%の削減でした。

結果は、12.4%の削減で目標を達成しました。

家庭系は3.2%の削減ですが令和元年度と比較すると増加しています。今後も適正な分別と資源化の啓発を進めてまいります。

事業系は34.8%の削減でした。平成28年10月に処理手数料を引き上げた効果は落ちてきましたが、引き続き清掃工場での搬入物検査、排出事業所への訪問指導などに取り組みます。

日頃の市民のみなさまのご協力に感謝するとともに引き続きご協力をお願いいたします。

	平成23年度基準値		令和2年度実績値			令和4年度目標値		
	全体量(t)	一人一日当たりのごみ量(g)	全体量(t)	一人一日当たりのごみ量(g)	減量率	全体量(t)	一人一日当たりのごみ量(g)	減量率
家庭系ごみ	24,792	462.0	24,268	447.4	-3.2%	22,293	415.7	-10.0%
事業系ごみ	10,311	192.1	6,795	125.3	-34.8%	9,271	172.9	-10.0%
合計	35,103	654.1	31,063	572.7	-12.4%	31,564	588.7	-10.0%
	人口(人)	146,637	人口(人)	148,606		人口推計(人)	146,906	